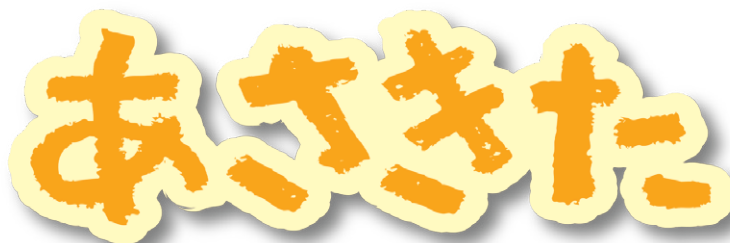




区報あさきた
10.1号

P7・P8編集・安佐北区役所区政調整課
〒731-0292 安佐北区可部四丁目13-13
☎819-3903 ☎815-3906



みんなが支え合う 自然と歴史の安佐北区



安佐北区の人口/135,675人(1,434人減)
安佐北区の世帯数/66,196世帯(24世帯増)
令和7年8月末現在(前年同月比)

広島市安佐北区役所

検索

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/asakitaku/>



ワイヤーメッシュ柵(イノシシ用)



人里に下りてきたシカ



熟した果実の放置

人里へ野生鳥獣を寄せ付けない!!

近年、シカやイノシシなどの野生鳥獣が、住宅地や農地へ頻繁に出没するようになってきています。人里への出没を防止するためには、その生態を知り、対策を取ることが大切です。

園農林課(☎819-3932、☎819-3885)

人と野生鳥獣の距離を守るために

野生鳥獣による被害の相談が各地で寄せられています。畑の作物を食べられたり、花壇を荒らされたりするなど、暮らしへの影響も少なくありません。

野生鳥獣の生態について理解し、互いの領域を守ることが、被害を防ぐ第1歩です。地域全体で意識を高め、野生鳥獣を人の周囲へ寄せ付けない環境づくりをしましょう。

野生鳥獣を寄せ付けないために

餌付けとなる状況にしない

ペットのエサや果樹・野菜の放置などに注意しましょう。

鳥獣の隠れ場所をなくそう

放置された空き地や空き家、手入れされていない里山があると、隠れ場所になってしまいます。草刈りや清掃を行いましょう。

鳥獣の侵入を防ごう。補助金のご利用を

柵などで隙間を空けずしっかり囲んで侵入を防ぐことで、獣などが近づきにくい環境となります。それぞれの立地にあった柵を設置しましょう。農林産物に対する被害を防ぐための柵の設置・補修資材費などのおおむね半額(補助限度額あり)を助成しています。詳しくは、園農林課へ。



ワイヤーメッシュ柵(シカ用)



電気柵(シカ用)

補助制度の利用で柵設置の負担を軽減できました

農家歴30年以上の世羅さんは、約2.7haの農地を手がける米作りの達人。「柵設置の補助制度を3回利用し、ほぼ全ての農地に柵を設置しました。かつてのシカやイノシシによる被害はほとんどなくなり、今では、安心して農業が続けられています。対策したい野生鳥獣の習性を理解し、動物によって柵の種類や高さを工夫することが効果的です」と話します。



シカ



朝方と夕方に盛んに行動し、道路わきに生える草の新芽なども好んで食べる。警戒心が弱く街中に頻繁に出没する

カラス



早朝から夕方まで街中で餌を探す。3月～7月の繁殖期に巣に近づくとな人を攻撃することがある

野生鳥獣の生態を知ろう

イノシシ



雑食性で特に芋やタケノコなどを好む。逃げ場がないなど追い詰められると人を襲うことがある

クマ



基本的に夜間に活動するが、秋は、冬眠準備のため特に活動が活発になり、日中でも行動するようになる

野生鳥獣に出会ったら

近づかない

その場にエサがなければ、しばらくすると自然に山に帰っていきます。むやみに近づかないようにしましょう。

ゆっくり後退し静かに立ち去る

出会ったら、静かにその場を離れるようにしましょう。人が走って逃げると、本能的に追いかけてくる野生動物もいます。

威嚇したり、驚かせたりしない

棒を振り上げたり、石を投げたりして威嚇することは大変危険です。犬などを連れていたり、興奮して攻撃してることがあります。散歩コースや時間帯の見直しを検討しましょう。

環境美化標語 入選作品発表

3,191点のご応募ありがとうございました。区公衆衛生推進協議会を中心とした環境美化標語審査委員会により、応募作品の中から入選作品と受賞者が決まりました。最優秀賞の中から河野朱杏さんの作品をのぼり旗にして、環境美化の啓発に役立てます。

園地域支えあい課(☎819-0588、☎819-0602)

最優秀賞作品と受賞者

拾うより 捨てない努力 あなたから
ごみ拾い みんなの笑顔を 私から
ごみの無い きれいな町に 咲く笑顔

河野朱杏さん(中学生)
おくたにあん
奥谷杏さん(小学生)
くろとびよし
黒飛義竹さん(一般)

優秀賞受賞者

おいしく
大石朔さん(小学生)
ますだおとや
升田音弥さん(小学生)

いのうえゆりあ
井上結理愛さん(中学生)
なかのるか
仲野瑠華さん(中学生)

おおばともみ
大庭智美さん(一般)
たけもとしょう
竹本亮さん(一般)